

まなびや

わたし、先生になる！

鯖江女子師範学校での学び

師範学校とは、明治期から戦後にかけて存在した、おもに、初等教育（小学校）の教員養成を目的とした学校です。まず、一八七二(明治5)年に東京に官立の師範学校が創設され、その後、次第に各府県に広がり、明治7年本県に敦賀県立師範学校が設置。

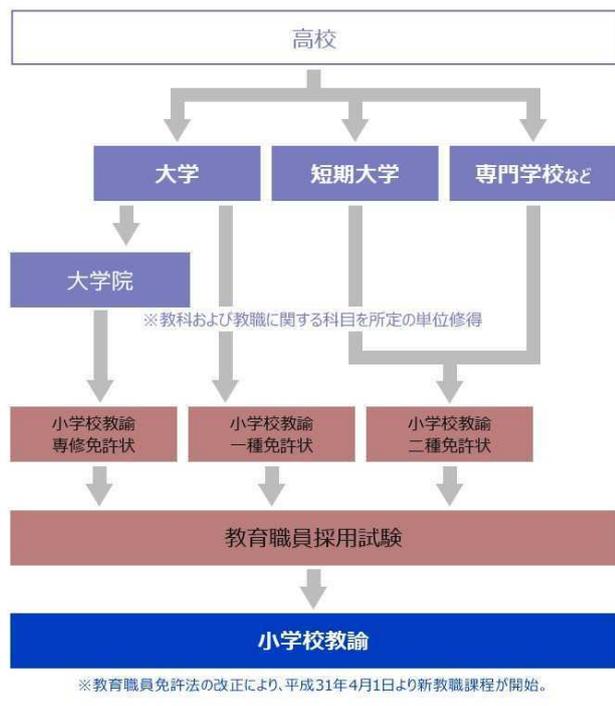
本県の女性教員養成の制度はなかなか整わず、学制が公布された明治5年頃には女性教員は4人だけでした。明治9～14年の間、福井県は嶺北が石川県、嶺南が滋賀県に所属していました。その間、明治10年に開設した石川県第三女子師範学校が、福井県最初の女性教員養成の学校でした。

明治44年には、県内女性教員の割合は約3割まで増加しました。女性が学問を修め、教育に携わる新しい女性の職場が確立していきました。

現在、小学校の先生になるには

学校教諭になるには、教員免許が必要となります。小学校教諭の普通免許状を取得するには教職課程のある大学・短大・大学院に行き、その課程を履修する必要があります。(その他通信教育なども)

免許状を取得した後は教員採用試験を受けます。地域によって、また公立・私立など学校の種類によって試験内容は変わります。教員採用試験に合格すれば、小学校教諭として働くことができます。



【参考】まなびや第31号参照『師範学校』って、なに？昔の教員養成学校・学習風景官立福井師範学校S18～26年

【関連】まなびや第61号参照「新教育の探究者」・教育者木下竹次・三好得恵の実践

秋の特別展

10月9日～12月12日

わたし、先生になる！

鯖江女子師範学校での学び



2021
10/9(土)～12/12(日)

開館時間：午前9:00～午後5:00
(入館は午後4:30まで)

入場料：無料
休館日：月曜日、11/4、11/24

福井県教育委員会 教育博物館
Tel: 0776-56-2250 / Fax: 0776-56-2251
E-mail: sennan@kaiyokan.jp

資料協力：福井大学附属図書館、福井大学 福心会

昨年、福井大学附属図書館で、女子師範学生の一生を描いた双六が発見。そこからは、当時の学生たちの学びの様子が浮かび上がってきます。

明治期から戦後の時期にかけて存在した「師範学校」。学生たちは、寄宿舎で日夜生活を共にしながら、教員を目指し学びを重ねていました。

昭和3年に設立された鯖江女子師範学校は、昭和18年に福井師範学校女子部に統合され、戦後一九四九(昭和24)年に福井大学学芸学部が発足すると、福井師範学校は一九五一(昭和26)年に閉校しました。それから70年を経た現

在、師範学校の彼女たちの学びを私たちはほとんど知ることがありません。

今回の特別展では、師範学校での学生生活や学びの様子を紹介します。なお、今回の特別展に際し、福井大学附属図書館、福心会、県立鯖江高等学校、鯖江市借陰小学校にご協力をいただきました。



▼社会変遷双六図(S6年頃)